

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	アナモレリン投与患者におけるNLR変化と治療フェーズが予後に与える影響に関する後方視的研究		
1. 研究の目的と方法	本研究は、進行癌患者において癌悪液質に対して使用されるアナモレリン投与時の好中球リンパ球比（NLR）の変化に着目し、治療状況（抗腫瘍治療継続中または治療終了後）との関連を踏まえて、予後（生存期間）への影響を明らかにすることを目的としています。NLRは体内の炎症状態や免疫状態を反映する指標であり、その変化が患者の状態や治療効果と関連する可能性があると考えられていますが、治療状況による違いを含めた検討は十分に行われていません。 本研究は、過去の診療録（電子カルテ）に記録された情報を用いて実施する後方視的観察研究です。対象となる患者さんの年齢、性別、がんの種類や治療内容、血液検査データ（好中球数、リンパ球数、CRP、アルブミン値など）、アナモレリンの投与状況、および生存期間などの情報を収集し解析を行います。特に、アナモレリン投与開始前後におけるNLRの変化を評価し、その変化と生存期間との関連を統計学的に検討します。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2027年3月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	2021年8月1日から2026年4月30日までの間に、東京慈恵会医科大学附属病院において癌悪液質に対してアナモレリンの投与を受けた18歳以上の患者さんを対象とします。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	年齢、性別、体重、癌腫、病期、治療関連情報（抗腫瘍治療内容および治療継続状況）、臨床検査データ（好中球数、リンパ球数、CRP、アルブミン値）、予後情報（生存期間および死亡の有無）、アナモレリン投与開始日および投与期間	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学附属病院
		氏名	中澤 佑介
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
(3) 当施設の 試料・情報の	(1)の研究責任者と同じ		

	管理責任者	
	(4) 共同で研究を実施する施設とその責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。
6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 情報の利用開始予定日：2026年6月頃。	
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学附属病院、薬剤部 研究責任者：中澤 佑介（なかざわ ゆうすけ） 電話番号：03-3433-1111（内線 5339） 対応時間：平日 8：30～17：00	

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。